

TREND MICRO

ServerProtect™ for Linux

Linux ファイルサーバのためのウイルス対策ソフトウェア / Samba, FTP サーバにも有効

PROBLEM — 課題 —

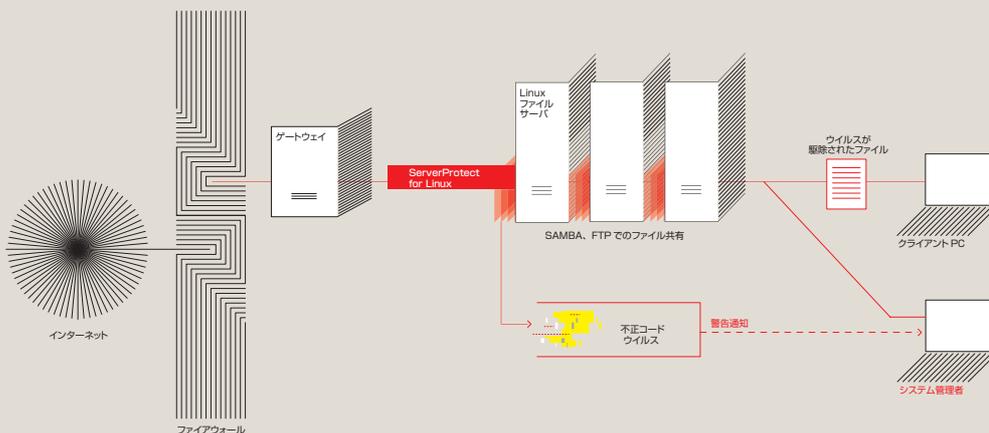
企業のネットワーク環境においては、ウイルスに感染した PC を物理的に隔離することは困難です。いったんネットワーク上の PC にウイルスが感染すると、短時間のうちに蔓延する危険性があります。現時点では Windows と異なり、Linux を攻撃対象としたウイルス、不正プログラムはそれほど多く発見されていないのが実情です。しかし、Linux サーバの普及に伴い、Samba、FTP サーバとして利用される Linux サーバを介してウイルス感染する可能性が高まっています。企業にとって最も重要なデータの保存・格納場所であるファイルサーバや Web、FTP サーバが悪質なウイルスのターゲット、ウイルスの格納庫にならないためにはどうすべきなのでしょう。

STRATEGY — 戦略 —

ServerProtect for Linux では、リアルタイム*でのウイルス検出によって、ウイルスを自動的に検出、処理するだけでなく、必要に応じて、手動検索機能、または予約検索機能によって、定期的にウイルス感染の有無をチェックすることができます。また、最新のウイルスパターンファイル、検索エンジンやプログラムモジュールをインターネット上のトレンドマイクロサイトから自動的にアップデートすることができますので、常に最新のウイルス対策を提供することが可能です。

- ◆ リアルタイムでのウイルス検出を実現：ファイルの書き込み、読み出しを常に監視*
コマンドラインでのウイルス検索、管理もサポート：リアルタイム検索、手動／予約検索、アップデート、その他管理コマンド
- ◆ 最新のパターンファイル、検索エンジン、プログラムは、インターネットからアップデート可能
- ◆ Web ブラウザで利用可能な管理コンソールで、離れた場所からの管理も簡単*
HTTPS のサポートにより、遠隔地からの管理コンソールへのアクセスも安心
Mozilla をサポート
- ◆ カーネルレベルでのウイルス検出によって、高いパフォーマンスを実現
- ◆ ウイルスのアウトブレイク(大規模感染)時には、e-mail などで管理者に通知可能

* ご利用いただけるカーネルのバージョンに制限がございますので、ご注意ください。



ServerProtect for Linux の仕組み

ServerProtect for Linux は、Linux サーバへ侵入しようとするウイルスをリアルタイムで検出・駆除します。感染ファイルはエンドユーザに届かず、システム管理者に通知されます。

Trend Micro ServerProtect™ for Linux

ハイパフォーマンスなウイルス検索

- ◇ 複数のウイルス検索技術により、様々な種類の不正コード（ウイルス、トロイの木馬、ワーム）を検出します。
- ◇ パターンマッチング方式を採用しています。これは、ウイルスを識別するコードの広範なデータベースであるトレンドマイクロの「パターンファイル」を使用し、ウイルス感染の疑いがあるファイルをチェック。ウイルスコードにあたる文字列をウイルスパターンと比較する方法です。
- ◇ マクロウイルスを検出するために、トレンドマイクロによって開発された MacroTrap と呼ばれる技術を採用しています。
- ◇ スクリプトウイルスは、スクリプトが記述されたファイル（.vbs、.js）を開くだけでウイルス活動を開始します。ServerProtect for Linux は、VBScript（Visual Basic Script）や JavaScript などのスクリプト言語で作成されたスクリプトウイルスを検出する ScriptTrap と呼ばれる技術を採用しています。

リモート管理機能

- ◇ Web ベースのコンソールを使用して、設定、検索、ログの表示（レポート）を簡単に実行できます。
- ◇ 複数のシステム管理者が Web ベースのコンソールにアクセスすることができます。また、アクセスするユーザを限定するため、パスワードを設定することが可能です。
- ◇ Web ベースのコンソールは、Microsoft Internet Explorer および Mozilla から利用できます。

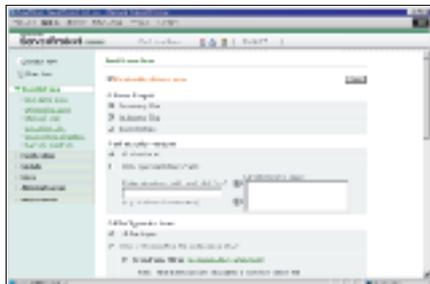
システム管理者をサポートする機能を搭載

- ◇ ウイルスアウトブレイク発生時の警告通知により、システム管理者はウイルス感染状況を 24 時間いつでも把握することができます。詳細なログにより、システムやウイルスに関連するイベントの履歴情報を確認できます。
- ◇ ウイルスイventやプログラムイベントはログとして記録され、ウイルス対策に必要な履歴情報をシステム管理者に提供します。
- ◇ 記録されたログを、ServerProtect for Linux の Web コンソール上で表示したり、他のプログラムで使用可能な形式のファイルとして書き出す機能も用意されています。
- ◇ ログを必要に応じて手動で、またはスケジュールに従って自動で削除することができます。
- ◇ ウイルスイventやプログラムイベントが発生した場合は、e-mail、SNMPトラップによってシステム管理者に警告通知を送ることができます。

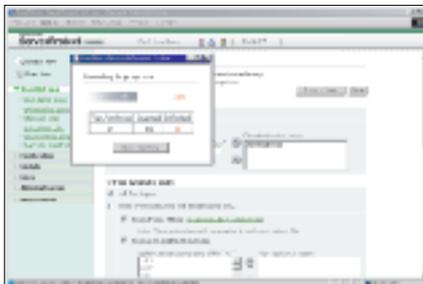
最新のウイルス対策を提供する自動アップデート機能

- ◇ インターネット経由でのプログラムやパターンファイルのアップデートを、手動または予約により実行することができます。この機能によって、常に最新のウイルス対策の実施が可能となります。

▼ リアルタイム検索の設定画面



▼ 手動検索実行中の画面



ウイルス解析・サポートセンター 「TrendLabs (トレンドラボ)」

24時間365日の強力なサポート

トレンドマイクロのウイルス解析・サポートセンター「TrendLabs」は、高度な技術水準と最新設備を備え、品質保証のISO9001:2000認定を取得しているフィリピンセンターを本部として、米国、日本、台湾、ドイツ、フランスの各国センターで構成されています。「TrendLabs」では、ウイルス解析エンジニアを含む250名以上のスタッフが24時間体制でウイルスの活動を監視しており、セキュリティに対する最新の脅威に関する情報を収集し、迅速かつ効果的に高品質なサービスとソリューションを世界各国のトレンドマイクロのパートナーとお客様に対して提供しています。

システム要件

サーバ
対応OS

バージョン1.3
- Red Hat Enterprise Linux (AS, ES, WS) 2.1*
- Red Hat Enterprise Linux (AS, ES, WS) 3.0
- MIRACLE LINUX 2.1
- MIRACLE LINUX V3
*手動検索および予約検索のみ利用できます。

バージョン1.25
- Red Hat Linux 8.0
- Red Hat Linux 9
- Red Hat Enterprise Linux AS 2.1
- Red Hat Enterprise Linux ES 2.1
- Red Hat Enterprise Linux WS 2.1

機種
IBM PC/AT互換機

※製品の詳しい情報および評価版のダウンロードは、下記をご参照ください。

<http://www.trendmicro.co.jp/product/>

※システム要件は変更される場合がございます。ご了承ください。

トレンドマイクロ株式会社

東京本社： 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1
新宿メインスタワー
TEL.03-5334-3650（営業代表）
FAX.03-5334-6324

大阪営業所： 〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3-5-1
エプソン大阪ビル7F
TEL.06-6258-8091
FAX.06-6258-8092

名古屋営業所： 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-5-27
錦中央ビル10F
TEL.052-955-1221
FAX.052-963-6332

福岡営業所： 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-3-7

■お問い合わせ先